

かけはし

赤の3組

～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、赤の3組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園Webサイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

大学キャンパスへ出掛け、紅葉した葉っぱや木の実を集めていると、ある子が「ドングリまつりだー！」と言。「いいね！」「そうだ、ドングリまつりをしようよ」と、『ドングリまつり』をすることになりました。集めた自然物（木の実や落ち葉）を使って、おまつりで遊べるようにゲームをついたり、お店屋さんを開いたりして、遊び始めています。

★ ドングリすくい ★

ドングリで遊んでいたことから生まれた遊び。



「ドングリ、たくさんあつまってきたねー」「このドングリはおっきい！」と、すくって遊んでいると…



「ラッキードングリ、みつけた！」
1つだけ、黄緑色のドングリを発見！



すくったドングリの中に、「ラッキードングリ」が入っていたら“当たり！”という遊びのお店になりました。

★ どんぐりコロコロゲーム ★

ドングリすくいで遊んでいたことから生まれた遊び。



ドングリすくいで「ラッキードングリみつけ！」と遊んでいると、箱からドングリがあふれ出て、廊下へ。コロコロ転がったドングリが廊下の溝に並んでいきました。



「おもしろーい！コロコロころがっていくね」「ドングリを転がして遊びたい」と子どもたち。そこで、ドングリを転がして遊ぶ台をつくることに。



「ドングリが、途中で止まらずに一番下のカップに入ったら“当たり！”」「もっと、(段ボールでつくった)道を短くしたほうが入るよ」と、改良中です。

★ 出店屋さん (焼きそば屋さん たい焼き屋さん ドングリ飴屋さん アクセサリー屋さん) ★

「おまつりには、どんなお店があるかな？」「何屋さんをしたい？」と意見を出し合ったことから生まれた遊び。「今年は、おまつり行けなかったよね」「コロナだからね」と子どもたち。「赤の3組の『ドングリまつり』は、どんなお店を開こうか」「何屋さんがあったら楽しいかな」と、子どもたちに聞くと、たくさんのアイデアが出てきました。



「おまつりには、焼きそばがあるよね！」毛糸や画用紙を切って準備しました。



鉄板の上で、たい焼き、マツボックリ焼き、ドングリ焼き…いろいろなものを焼き始め、楽しんでいます。



「焼きそばください！」

お店が増えてくると、「いらっしゃいませ！」「おいしいですよー！」と元気な声が響くようになってきました。



こちらは、ドングリ飴。段ボールを丸く切っておくと、子どもたちがドングリのトッピングを始めました。



「これ、ください」

「おいしいですよ！」



「かわいいね！」

「おまつりに、お母さんたちが遊びにきてくれるから、プレゼントしたい！」と、メタセコイヤの実や、葉っぱを使ったアクセサリー屋さんも開店しました。

★ 魚釣りゲーム★

1学期から続いている遊び。



1学期から遊んでいる魚釣りもおまつりのゲームに仲間入り。魚以外に、タコやイカ、クラゲも加わって、にぎやかになりました。



「やったー！つれたよー！！」



見事3匹釣れると、アクセサリー屋さんでごほうびがもらえます。